

基本目標2 誰もが安心して『夢』を持って暮らせるまちづくり

| 実現するためにめざすこと | 施策・事業 | 取組内容 | 令和6年度実績 | 進捗状況 | 課題等 | Withコロナ アフターコロナを踏まえた事業内容の見直し | 今後の方向性 | 担当部署 |
|--------------------------|-------------------------------|--|--|---------------|---|---------------------------------|------------------|---------|
| 1 最期まで自分らしく過ごせる地域をつくる | 1 障害者地域生活支援事業 | 障害のある人の自立した日常生活や社会生活のため、地域の特性や利用者の状況に応じ、日常生活用具の給付、権利擁護、手話等の通訳、移動支援等のサービスの提供等を行います。 | ③障害者の地域生活を支援するため、各種地域生活支援事業を実施した。 | ○ほぼ計画どおり進んでいる | ④無し | ④無し | 維持 | ④社会福祉課 |
| | 2 居宅介護福祉用具購入費の給付・居宅介護住宅改修費の給付 | 自立した生活環境を整えるため、居宅介護福祉用具を購入したり、段差解消などの住宅改修を行う際に支援します。 | ④介護認定を受けた者へケアマネジャーがケアプランに基づき、福祉用具の購入や段差解消などの住宅改修を支援した。 福祉用具購入 348件 住宅改修 179件 | ○ほぼ計画どおり進んでいる | ④無し | ④無し | 維持 | ④高齢者支援課 |
| | 3 食の自立支援事業 | 在宅のひとり暮らし高齢者等が健康で自立した生活を送ることができるように、安否確認を兼ね、食生活に関する情報提供と配食サービスを実施します。 | ④安否確認を兼ね、食生活に関する情報提供と配食サービスを実施した。 配食数 16,268食 | ○ほぼ計画どおり進んでいる | ④利用者への栄養改善の指導方法や事業者の減少が課題となっている。 | ④無し | 維持 | ④高齢者支援課 |
| | 4 認知症高齢者の見守り体制の強化 | 地域での認知症徘徊高齢者見守り体制を強化するため、「認知症サポーター養成講座」の開催や「わんわんパトロール隊」の設置、見守りシールの活用を推進します。 | ④市職員の新規採用職員を対象に認知症サポーター養成講座を開催した。校長会に出向き学校での認知症サポーター養成講座の開催を依頼した。ステップアップ研修は生涯大学校生徒を対象に実施した。 ・ステップアップ研修 1件 「わんわんパトロール隊」は狂犬病予防接種の機会を利用し、リーフレット等で周知活動を実施した。 わんわんパトロール隊新規登録 1件 | ○ほぼ計画どおり進んでいる | ④今後は認知症の人やその家族と支援者をつなぐネットワークである「チームオレンジ」と連動し、認知症サポーター養成講座及びステップアップ研修の充実を図り、地域のネットワークを強化する必要がある。 | ④無し | 維持 | ④高齢者支援課 |
| | 5 緊急通報システムの貸与 | 在宅のひとり暮らし高齢者等の急病等緊急事態に関する日常生活上の不安を解消するため、家庭用端末機・ペンダント型無線発信機または携帯端末型緊急通報装置を貸与します。 | ④緊急ボタンを押すだけで、安心センターと通話ができ、状況に応じて協力員や親族への連絡や救急車の出動を要請した。また、緊急通報以外でも看護師が生活や健康面での不安や悩み事などの相談を24時間365日体制で受け付けている。 実績 97人 | ○ほぼ計画どおり進んでいる | ④今後も単身高齢者の増加により、事業の必要性は高い。 | ④無し | 維持 | ④高齢者支援課 |
| | 6 救急医療カプセルの配布 | 65歳以上のひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯に、内服状況や現病歴などの医療情報や緊急連絡先を記載した用紙を入れる専用の容器（カプセル）を配布します。 | ④高齢者のみの世帯に、内服状況や現病歴などの医療情報や緊急連絡先を記載した用紙を入れる専用の容器（カプセル）を配布した。 配布数 271件 | ○ほぼ計画どおり進んでいる | ④医療機関情報や緊急連絡先等、本人の情報の更新が課題となっている。 | ④無し | 維持 | ④高齢者支援課 |
| 2 心身の健康づくりに取り組み、健康寿命を伸ばす | 1 健康教育・健康相談の実施 | 市民の健康意識の高揚を図るため、「生活習慣病予防教室」や検診後の健康相談など、さまざまな健康教育を実施します。 | ④感染対策をとり工夫しながら、健康教育や健康相談等を実施した。 生活習慣病予防教室 3回1コース 参加人数 実人数25人 延人数50人 楽ラク筋トレ教室 5回1コース 参加人数 実人数22人 延人数100人 女性の健康づくり教室 1回実施 参加人数 20人 検診後の健康相談 9回実施 参加人数 44人 | ○ほぼ計画どおり進んでいる | ④健康教育に参加されない方に対する健康づくりの取り組みに向けた普及啓発。 | ④無し | 維持 | ④健康推進課 |
| | 2 総合検診の実施 | 国民健康保険加入者の20～39歳対象の「フレッシュ健診」、40～74歳対象の「特定健康診査」、後期高齢者医療制度加入者対象の「後期高齢者健康診査」を実施します。 また、健診受診者に対し、早期からの生活改善を促し生活習慣病予防または重症化の予防を図るため、保健指導を行います。 | ③④総合検診（集団検診）と施設健診（個別健診）を実施した。対象人口の減少と施設健診利用の増加の背景があり総合検診の開催日を縮小した（19日間）。 特定健康診査 2,556人 （前年比172人減 途中） 後期高齢者健康診査 1,114人 （前年比168人増） 健康診査 24人 フレッシュ健康診査 74人 （前年比2人増加） | △計画より遅れている | ③④ ・受診率は低迷している状況。 引き続き、受診率向上に取り組んでいく必要あり。 ・医療機関は受診しているが健診を受けていない者（レセプトがあるが健康診査は未受診）が多い。みなし健診の活用や健診の活用についての啓発が必要。 ③④ ・総合検診は予約制で実施。 ・広報誌等での呼びかけやAIによる特定健診受診率向上事業による動員を続けることで受診率向上を図る。 | 維持 | ③保険年金課 ④健康推進課 | |
| | 3 各種検診の実施 | がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、成人歯科検診を実施し、各疾患の早期発見に努めます。 | ④総合検診（集団）と大腸がん検診、結核・肺がん検診・胃がん検診・肝炎ウイルス検診・前立腺がん検診を同時実施した。 肺がん検診 3,747人受診 （昨年度比66人減少） 胃がん検診 884人受診 （昨年度比36人減少） 骨粗しょう症検診 284人受診 （昨年度比18人増加） 大腸がん検診 3,647人 （昨年度比169人減少） 成人歯科検診 53人受診 （昨年度比15人減少） | ○ほぼ計画どおり進んでいる | ④総合検診と同時実施する検診では、予約制で実施。受診率向上に向けた取り組みが必要。 | ④事前予約、受付時間の設定で実施。 | 維持 | ④健康推進課 |
| | 4 地域リハビリテーション活動の支援 | リハビリテーション専門職等が行う介護予防の取り組みを総合的に支援し、介護予防の機能強化を図ります。 | ④リハ専門職が介護予防が必要な高齢者の自宅を訪問し、アセスメントと助言を行った。10件 | ○ほぼ計画どおり進んでいる | ④近隣リハ専門職との連携 | ④無し | 維持 | ④高齢者支援課 |

基本目標2 誰もが安心して『夢』を持って暮らせるまちづくり

| 実現するためにめざすこと | 施策・事業 | 取組内容 | 令和6年度実績 | 進捗状況 | 課題等 | Withコロナ アフターコロナを踏まえた 事業内容の見直し | 今後の 方向性 | 担当部署 |
|-----------------|---------------------|--|---|---------------|---|---|------------------|------------------------|
| 3 子育てしやすい地域をつくる | 1 子ども医療費の助成 | 0歳から中学校3年生までの子どもにかかる医療費（保険適用）の一部を助成します。 | ⑨高校3年生相当まで、保険適用された医療費から他の公費負担額を控除し、自己負担金額（通院1回300円、入院1日300円、調剤無料（住民税非課税・均等割のみ課税世帯は入院も無料））を除いた金額を助成した。 同月、同一医療機関で通院6回、入院11日以上受診した児童は、自己負担金額も助成した。 | ○ほぼ計画どおり進んでいる | ⑨無し | ⑨無し | 維持 | ⑩社会福祉課 ⑨子ども教育課 |
| | 2 こんには赤ちゃん事業 | 生後3～4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、さまざまな不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供・母子の心身の状況や養育環境の把握と助言を行い、支援が必要な家庭について適切なサービス提供につなげます。 | ⑨令和5年10月から訪問員を主任児童委員及びオレンジ（子ども家庭支援センター）職員に依頼して実施した。 訪問員の訪問件数 32件（50%） 保健師の訪問件数 32件（50%） 全体の訪問件数 64件 | ○ほぼ計画どおり進んでいる | ⑨出生数が減少傾向にあるが、乳児の子育て環境や母子の心身の状況把握等のため、全戸訪問は継続実施する必要がある。 | ⑨無し | 拡充 | ⑩健康推進課 ⑨子ども教育課 |
| | 3 妊娠期からの育児支援 | 健やかな妊娠・出産を実現し、安心して育児ができるよう、「両親学級」と「離乳食教室」を実施し、妊娠期から乳児期における育児支援を行います。 | ⑨両親学級（妊婦対象）実施。 妊婦を対象に年6回実施。参加妊婦35人 内容2種類実施（①沐浴、赤ちゃんの世話②妊娠中の過ごし方等） 産後の教室は、産後ケア事業（集団）として実施した。年4回実施、参加人数8組 離乳食教室は、年6回実施。参加者数44組。 また、4・9か月児相談の際には離乳食の展示を行った。 | ○ほぼ計画どおり進んでいる | ⑨令和5年度から各種事業を再開した。今後も事業の継続実施が必要であると考えている。 | ⑨無し | 維持 | ⑩健康推進課 ⑨子ども教育課 |
| | 4 ファミリー・サポート・センター事業 | 地域における育児の相互援助活動として、仕事との両立や子育て中の方の育児支援を行うため、援助を受けたい人と、援助ができる人を適切につなぎ、結びつけます。 | ⑨利用実績（延べ件数） 225件 子どもの送迎や、片親家庭への支援が多かった。 | ○ほぼ計画どおり進んでいる | ⑨援助ができる人を各地区に増やしていく。 | ⑨無し | 維持 | ⑨子ども教育課 |
| | 5 発育発達支援事業 | 乳幼児健診や相談、「にこにこ教室」等で、発育発達に心配がある子どもを対象に、専門家の助言を受けながら小集団での遊びの場「きらりんくらぶ」などにつなげます。 | ⑨利用実績（延べ人数） きらりんくらぶ 369人 ことばの相談 72人 幼児相談 53人 「乳幼児健診」や「にこにこひろば」、「にこにこ教室」、「移行期支援会議」の様子から発達に心配がある子どもを「個別相談」や「きらりんくらぶ」に繋げることができた。 | ○ほぼ計画どおり進んでいる | ⑨引き続き、保健師、教育相談センター、子ども園、支援学校、病院などとの連携を大切にし、早期発見、早期認知、早期療育ができるようにしていきたい。 | ⑨無し | 維持 | ⑨子ども教育課 |
| | 6 児童遊園や公園の管理・整備 | 児童遊園や公園の管理や整備を行います。 | ⑧-2旧南三原小学校等跡地公園整備工事を令和5年度から令和6年度の継続事業で実施した。また、旧平群小学校等跡地整備工事を令和6年度から令和7年度の継続事業で実施中。 ⑨児童遊園すべての遊具点検を実施した。点検の結果、白渚児童遊園ロープスイング修繕、北千倉児童遊園雲梯・滑り台修繕、北三原児童遊園遊具撤去、仁我浦児童遊園遊具及び水栓撤去を行った。 | ○ほぼ計画どおり進んでいる | ⑧-2無し ⑨児童遊園については、引き続き遊具点検を実施し、安全対策を行うとともに、老朽化した遊具の撤去や行政区と協議し廃止するか検討していく。 | ⑧-2無し ⑨児童遊園に手洗い等ないところが多い。遊び場の確保では子ども園の園庭開放で対応していきたい。 | ⑧-2維持 ⑨縮小 | ⑧-2 学校再編整備課 ⑨子ども教育課 |
| | 7 校庭・園庭の一般開放 | 地域の子どもの遊び場、市民の健康づくりやコミュニティの場として、小学校、子ども園および幼稚園の校庭・園庭を開放します。 | ⑧-1南房総市学校施設の開放に関する規則の規定に基づき実施した。 | ☆目標達成（事業完了） | ⑧-1無し | ⑧-1無し | 維持 | ⑧-1 教育総務課 |